

現状

- 1 京町家…(1) 京都の趣ある町並み景観を構成する基盤 (2) 歴史的に培われてきた京都の生活文化の基盤
- 2 残存軒数 40,146 軒 (2016 年度 追跡調査結果) ※ 2008, 2009 年時点の残存件数 47,735 軒 (滅失件数 5,602 軒, 空家率 14.5%)

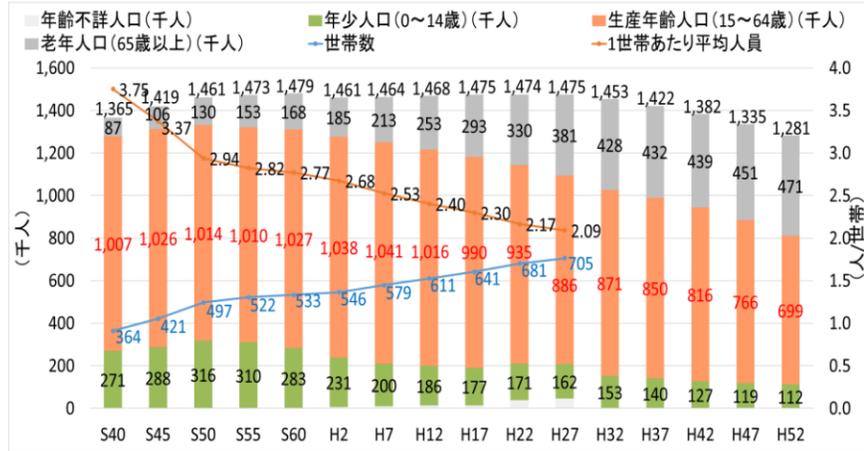
- 3 京町家の保全・継承の取組
 - (1) 市民等による京町家の再生活動が展開 (1992 年頃)
 - (2) 京都市が「京町家再生プラン」を策定 (2000 年度)
 - (3) 市民活動団体や専門家・事業者団体等, 京都市景観・まちづくりセンターと京都市が連携しながら様々な取組を展開
 - (4) 京町家に対する関心が高まり, 不動産市場でも一定量が流通するなど, 活用に

- に向けた環境が整ってきている一方で, 多くの京町家が空き家のまま放置され, 取り壊されている。
- (5) 京都市京町家保全・活用委員会の設置 (2016 年度)
- (6) 京都市京町家の保全及び継承に関する条例の制定 (2017 年度)
 - ① 様々な主体の連携による取組 ② 解体の届出制度 等
- (7) 京都市京町家保全・継承審議会の設置 (2017 年度)

今後予想される社会情勢の変化

1 人口減少, 少子高齢化 (出典:「持続可能な都市検討部会」資料)

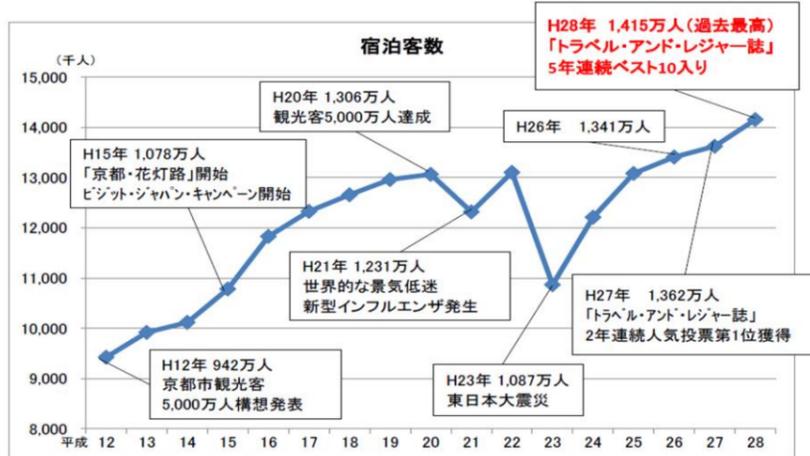
<京都市の人口の推移と予測 (S40~H52)>



2 観光客の増加 (出典:平成 28 年「京都総合観光調査」)

- (1) 観光客数 京都市への年間観光客数は, 3 年連続で 5,500 万人台を維持し, 5,522 万人
- (2) 宿泊客数 年間宿泊客数は, 前年から 53 万人, 3.9%増加し, 過去最高となる 1,415 万人

<京都市の宿泊客数の推移>



3 自然災害 —地震— (出典:「京都市国土強靱化地域計画」)

- (1) 直下型地震 平成 15 年 10 月 30 日の防災会議で承認された第 3 次地震被害想定において, 花折断層を震源とする直下型地震が京都市に最大被害を及ぼす地震として想定されています。
- (2) 南海トラフ地震 南海トラフ地震は, 発生した場合に京都市の一部に震度 6 以上となる地域があり, 被害が広域かつ甚大となることが想定されています。

京都市の各分野の施策の方向性

- 1 都市計画 (出典:「持続可能な都市検討部会」資料) 人口減少社会の到来, 少子高齢化の急速な進行を踏まえ, 京都の歴史, 文化を次世代に継承し, 魅力・活力のある「持続可能な都市」の構築を図る。【広域拠点エリア】市内外からの多くの来訪者の活動を支えるとともに, 都心居住による京都らしい都市空間を創出 【日常生活エリア】多世代が安心・快適に居住し地域のコミュニティ・文化が継承される京都らしい暮らしを実現
- 2 景観 (出典:「新景観政策 10 年とこれから」) 歴史都市・京都の景観形成に関する 5 つの基本方針*を再確認しつつ, 以下の視点から, 今後, 新景観政策の更なる進化に向けた検討を行う。
 - (1) 「優れた景観の新たな創造」に挑戦できる環境整備
 - (2) 「持続可能な都市の構築」に向けた規制・誘導のあり方
 - (3) 「個性や特色, 期待される都市機能」に応じた地域ごとの規制・誘導のあり方
 - (4) 地域のまちづくりや景観づくりに取り組むコミュニティ等への支援のあり方
 ※ 5 つの基本方針 (京都市景観計画) ① “盆地景”を基本に自然と共生する景観形成, ② 伝統文化の継承と新たな創造との調和を基調とする景観形成, ③ “京都らしさ”を活かした個性ある多様な空間から構成される景観形成, ④ 都市の活力を生み出す景観形成, ⑤ 行政, 市民, 事業者等のパートナーシップによる景観形成
- 3 観光 (出典:「京都観光振興計画 2020」の「2020 年の 4 つの観光都市像」より) 多様な景観資産, 自然景観と文化資産を守り, 育て, 創造的に活用を進めるまち
- 4 産業 (出典:「京都市産業戦略ビジョン」の「産業振興の基本方針」より) 新たな価値の創造, 都市のブランド化
 - ・ 新たな価値を創発するまちをつくる
 - ・ 創造都市・京都のブランドを確立し, 国内外の注目を集める
- 5 文化・芸術 (出典:「第二期京都文化芸術都市創生計画」の「計画の方向性」より) 暮らしの文化や芸術に対する豊かな感受性を持った人々を育む 京都の文化芸術資源を活用し, 文化を基軸にあらゆる政策分野との融合により, 新たな価値を創造する
- 6 住宅 (出典:「京都市住宅マスタープラン」の「住宅政策の目標」より) 住み継ぐ…京都らしい良質なすまいやまちを守り, 育て, 大切に手入れをしながら, すまい方や暮らし方とともに次代に引き継ぐ 支え合う…誰かが安心して暮らすことの出来るすまいやまちをみんなで実現する

- 7 コミュニティ (出典:「京都市地域コミュニティ活性化推進計画」の「みんなで目指す 10 年後の姿」より)
 - ・ だれもが気軽に参加できる居場所があり, 安心して暮らすことができている
 - ・ 地域の課題に主体的に取り組める多様なコミュニティができている
 - ・ 地域コミュニティと行政のパートナーシップが深化している
 - ・ さまざまな分野の市民活動団体が地域コミュニティと連携して活動している
- 8 防災・危機対応 (出典:「レジリエント・シティ京都ニュースレター」の「主な柱」より)
 - ・ 人が育つまち 基礎となる, 現在そして将来の担い手を育てるための「人口減少・少子高齢化への対応」
 - ・ 支え合い, 助け合うまち 町衆文化を受け継ぎ, 地域のレジリエンスを支える「地域コミュニティの活性化」
 - ・ 豊かに暮らせるまち 京都の精神文化を将来に渡り引き継ぎ, 発展させる「文化・芸術の創生」と都市の活力を高める「経済・産業の発展」との融合
 - ・ 快適に住めるまち 京都らしさの源泉である「景観・町並みの保全・創生」や, 地域の活性化等との相乗効果を生み出す「空き家の活用促進」
 - ・ 環境につよいまち 京都議定書誕生の地として, 気候変動による影響を最小化又は回避するための地域発の「地球温暖化対策」の推進
 - ・ 災害に強いまち 将来にわたり災害に強いまちを目指す「防災・減災対策」, 「インフラ老朽化対策」の推進
- 9 福祉 (出典:「健康長寿・笑顔のまち・京都推進プラン」の「取組方針」より)
 - ・ 市民が主役の健康づくり
 - ・ 市民の健康づくりを支える環境づくり (京都らしいライフスタイルへの転換を促進することによる健康づくり, 地域や人とのつながりの中で進める健康づくり, 健康づくりに取り組める環境の整備)
- 10 子育て (出典:「京都市未来こどもはぐくみプラン」の「目指すまちのすがた」より)
 - ・ 家庭・地域・育ち学ぶ施設・企業・行政などあらゆる場で, 市民みんなが子どもの育ちと子育てを支え合い応援するまち
- 11 環境 (出典:「京都市環境基本計画」の「4 つの長期的目標」より)
 - ・ 自然環境と調和した快適で安全・安心なまち
 - ・ 資源・エネルギーの有効利用と環境負荷の低減を図る循環型のまち

京町家の保全・継承の施策を検討するための視点

- 1 人口減少, 少子高齢化に伴うもの
 - (1) 京町家の新たな担い手への継承, 空き家の活用促進
- 2 まちづくり (都市計画・景観・住宅)
 - (1) 京町家を活用した都心居住による京都らしい都市空間の創出
 - (2) 地域における生活文化の継承・発展
 - (3) 景観の保全・継承と新たな創造
 - (4) 地域まちづくり・景観づくりと連携した京町家の保全・継承に向けた取組への支援
- 3 観光・産業
 - (1) 観光資源としての京町家の活用促進 (文化体験型施設, 宿泊施設, 店舗等)
 - (2) 産業振興に資する京町家の活用促進 (シェアオフィス, シェアハウス等)
- 4 文化・芸術
 - (1) 地域における生活文化の継承・発展【再掲】
 - (2) 文化芸術資源としての新たな価値の創造
- 5 防災・危機対応
 - (1) 京町家により構成された都市建築システムの継承・発展
 - (2) 地域の防災まちづくりの推進 (減災文化の継承等)
- 6 福祉・子育て
 - (1) 京町家を活用した高齢者の居場所づくり
 - (2) 京町家を活用した子育て環境の充実
- 7 環境
 - (1) 自然環境との調和・省エネルギー化の推進
 - (2) 地域産材の利用促進, 古材等の再利用